

登録コード	SD503300	開講年度	2026				
授業題目	資源地質学					担当教員	保柳 康一
英文授業名	Resources Geology					副担当	
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・2時限	対象学年	3年
講義室	理学部第11講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	自由 / 必修
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標		授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】		
		2 6 Sカリ, 2 5 Sカリ, 2 4 Sカリ, 2 3 Sカリ					
		【2023年度以降加付対象】理学の各分野における専門知識			炭化水素資源の地球学的位置づけを理解する 炭化水素資源の社会的役割を理解する 炭化水素資源と地球環境との関連を理解する		
(2)授業で学べる「テーマ」		環境共生					
(3)全学横断特別教育プログラム		環境マインド実践人材養成コース					
(4)授業の概要		炭化水素資源（石炭・石油・天然ガス）とメタンハイドレートについて講義する．					
(5)授業のキーワード		科学リテラシー，専門基礎と応用力，地域環境に対する理解，環境基礎力					
(6)授業計画		1．現代社会と炭化水素資源の関わり，技術者，消費者として炭化水素使用を考える 2．炭素の循環と炭化水素資源の形成 3．地球環境変遷と炭化水素資源形成 4．地層中の有機物と炭化水素資源の形成 5．石炭資源の形成と地球環境 6．石油資源の形成と地球環境 7．天然ガス資源の形成と地球環境，天然水素ガス資源の可能性 8．メタンハイドレートと地球環境 9．試験,授業アンケート					
(7)成績評価の方法		期末試験の成績によって評価する．					
(8)成績評価の基準		期末試験の結果により成績とする。ねらいに対する理解度の9割以上でS，8割以上9割未満でA, 6割以下は不可とする。なお，期末試験の成績は，下に述べた事後学習でどのぐらいきちんとノートが作られているかが鍵になる．					
(9)事前事後学習の内容		授業の後にeAlpsに掲載された図面をダウンロードして，授業内容と合わせてノートを作成のこと．このノート作成がきちんとおこなわれていることが，期末試験において重要である．					
(10)履修上の注意		ノートをきっちと整理すること．					
(11)質問,相談への対応		hoya101@shinshu-u.ac.jp やe-ALPSで質問を受け付けます．					
【教科書】		なし．					
【参考書】		なし					